



上手な野菜の育て方

ミズナ



1 栽培時期

○種まき ■収穫



2 栽培上の注意点

- ①ミズナは9月中旬から11月中旬が種まき適期です。
- ②大きく育てたいときは点まきがおすすめです。また、柔らかいミズナを育てたいときは条まきで密植ぎみに育てて下さい。
- ③倒れを防ぐため収穫はまとめて行い、間隔をあけて1株ずつ収穫しない方法があります。

3 敵づくり・本田肥料

種まき10日前に、3.3m²(1坪)当たり牛糞堆肥6kg、苦土セルカ2号300g、野菜専用化成250 300gを全面施してから耕うんし、畝幅150cmに整地する。

追肥は生育状況に合せ、野菜専用化成250 70gまたは、灌水を兼ね液肥の300倍液を施す。

大株に育てたい方へ

ミズナを大株に育てるには、間引きをしながら育て、最終的に株間を30~40cmくらいにします。また、追肥・土寄せも月一回程度行います。寒さで株の成長が遅れているときは、ビニールトンネル栽培にすると良いでしょう。

4 種まき・間引き

畝を立てたら、条間を20cmとて深さ1cmくらいの種まき溝を作り、溝の中央に1cm間隔で種をまいて親指と人指し指で左右の土をつまむように覆土します。覆土が終わったら手のひらで土を押さえましょう。

乾燥を防ぎ、発芽を均一にするには不織布を張り上から水をたっぷりかけ、その上から防虫ネットをかけましょう。

間引きは本葉2~3枚の頃、不織布をはずし奇形になった株や病害虫で傷んだ株を中心に、生育の悪い株を取り除き、3~5cm間隔にする。

5 その他の管理

間引き後防虫ネットを張り、害虫が侵入しないようにします。草丈が30~40cmくらいになり、防虫ネットにつくようになれば収穫適期です。

株元をハサミで切っていきます一株ずつではなく、まとめて切りその後切り取った株をまとめて収穫します。

まとめて収穫する理由としては、1株ずつ収穫すると、絡み合った茎をはずす時に茎が傷んでしまうからです。

6 病害虫防除

アブラムシ、アオムシ、コナガ、ハモグリバエの発生があります。

アブラムシ防除

ジェイエース水溶剤
1500倍、収穫2日前まで、使用回数 1回

アオムシ・コナガ・ハモグリバエ防除

アファーム乳剤
1000倍、収穫7日前まで、使用回数 3回以内